

教科教育学の 実践的展開



第3講 社会の中で●●科教育の 必要性をいかに説明するか

担当 草原和博



今から漫才を見ます

**教科教育にとっての、
「真正な(Authentic)な学び」
とは何かについて考えます**



導入シンポジウム

宿題をしてきましたか・・・

本日の目標は、

1. あなたが専門とする教科への、「世間の目」を知る
2. なぜ「○○科」教育があるのか、理由を説明できる

なぜ社会科という教科があるのか

社会科は、ちょうど100年前の
1916年、アメリカのNEALレポート
で誕生した といわれる...諸説あります



- なぜアメリカで...
- なぜ1916年に...
- なぜ誕生なのか...





理由1

民主主義の価値や生き方を教えるため

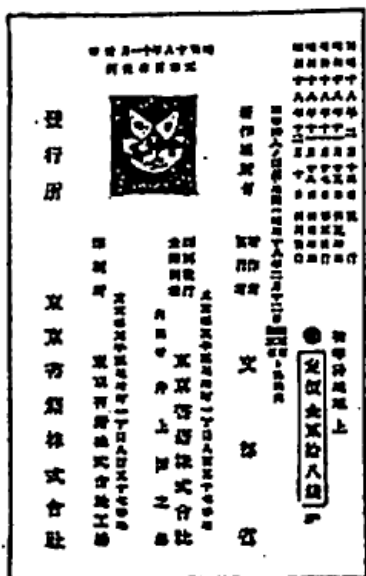
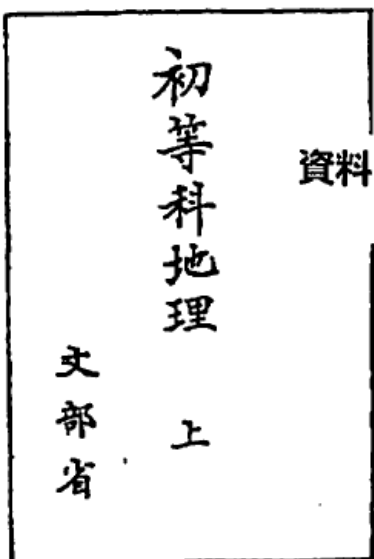
- 非民主的な国に、社会科はありません
- 王，独裁者，政党が支配する国が求める教育とは，自己の支配の正当性を伝える歴史と地理



市民参加・社会変革の可能性や方法を学ぶ＝社会科

- 軍事政権下のミャンマーからやってきた留学生は，フランス革命を知らなかった
- 戦時下の日本人は，英米など西欧社会の思想や産業を学ぶことができなかった

国定教科書にみる日本地誌の記述
 海後宗臣編纂『日本教科書大系 近代編 第17巻』講談社, 1



初等科地理 上

目 録

- 一 日本の地図
- 二 本州・四國・九州
- 三 帝都のある關東平野
- 四 東京から神戸まで
- 五 神戸から下關まで
- 六 九州とその島々
- 七 北陸と山陰
- 八 中央の高地
- 九 東京から青森まで
- 十 北海道と樺太
- 十一 朝鮮と關東州
- 十二 臺灣と南洋群島

初等科地理 下

目 録

- 一 大東亞
- 二 昭南島とマライ半島
- 三 東インドの島々
- 四 フィリピンの島々
- 五 滿洲
- 六 蒙 疆
- 七 支 那
- 八 インド支那
- 九 インドとインド洋
- 十 西アジアと中アジア
- 十一 シベリヤ
- 十二 太平洋とその島々



**民主的な社会のつくり方を学ぶため…
支配者に支配されないため**

**社会科を学べる皆さんは、
幸せです**



理由2

民主主義の状況や課題を教えるため

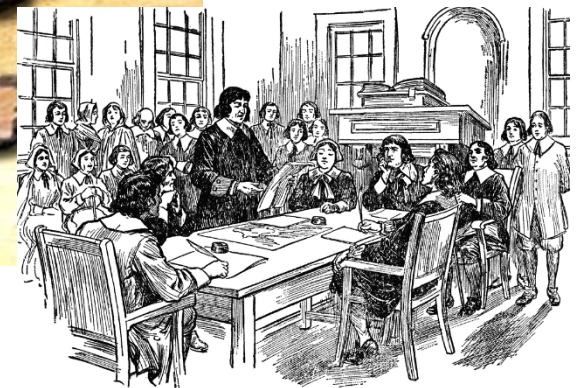
- 18/19世紀の社会に、社会科はありません
- 20世紀...生活していたら社会が分かる時代から、生活していても社会が分からない時代へ

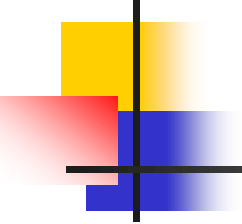


不可視な社会のしくみを意図的に学ぶ＝社会科

- 自給自足経済→ 商品貨幣経済, 労働・消費社会
- タウンミーティング→ 議会, 連邦政府, 国連
- 小さな家族と同質な村落 → 移民社会, 都市社会

西部開拓時代のアメリカ(1870年代から1880年代にかけて)を舞台にしており、インガルス一家は、ウィスコンシン州→カンザス州ミネソタ州→サウスダコタ州と移り住む。






**自分が生きている社会を学ぶため…
複雑な社会に翻弄されないため**

**社会科を学べる皆さんは、
幸せです**




まとめ

生活の中の**オーセンテック**な学びだけでは、複雑で高度化した民主主義社会の成り立ちが分からなくなって(20世紀初頭)**社会科が誕生した**



しかし、学校の中での社会科の学びが、子どもの現実**社会の文脈から大きく乖離**しすぎてしまって、教科の学びが機能不全に陥った



今改めて(21世紀初頭)、**オーセンテック**な学びに根差した**社会科が要求されている**
...citizenship 教育, 華丸・大吉の漫才

社会科教育の ルネサンス

—実践知を求めて—

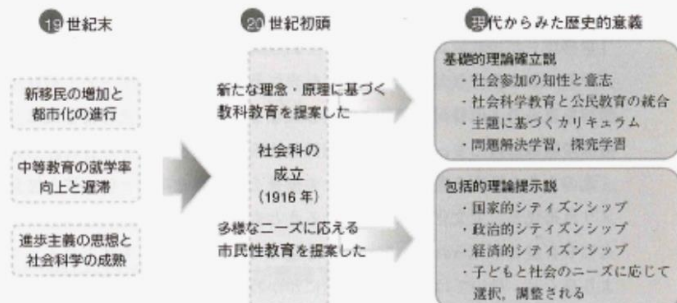
編著 原田智仁



3節 社会科は20世紀初頭のアメリカで生まれた

社会科は20世紀初頭のアメリカで誕生した。それは、なぜだろう。この時期に、アメリカで誕生したことは、社会科の性格にどのような影響を与えたのだろうか。

Point 社会科の成立



1. なぜ社会科の起源を問うのか

「社会科」の名称を冠した教科が、世界のどこでも教えられているかという、それは正しくない。日本や韓国、フィリピンなど、どちらかというとも歴史的に見てアメリカの影響の大きな国や地域に限られており、第二次世界大戦後の教育改革の過程で根づいたものである。確かに、中国の「品德と社会」、オーストラリアの「社会と環境」、イギリスの「シティズンシップ」のように、道徳と社会、自然と社会、政治経済と特別活動を統合した社会科「的」な教科は増えている。

しかし、これらはいずれも1990年代以降の各国の政治的・経済的・文化的な文脈の中で成立した新教科であり、日はまだ浅い。社会について取り扱う教科の傾向をマクロに眺めると、基本的には地理科や歴史科、公民科の名称で、領域別に分離分割された姿で教育課程に位置づいているケースが圧倒的に多いのではないだろうか。

だからこそ、社会科という総合教科が、①なぜ20世紀の初頭という早い時期に（通説では「中等教育改造審議会社会科委員会報告書」が刊行された1916年）に、②なぜ当時は新興国だったアメリカにおいて誕生し、今日まで継承されているのか。この2つの問いが問われなくてはならない。

ただ、この問いを追求しても、明日の授業づくりに役立つような特効薬は得られない。しかし、後述するように、この問いは、実践を長期にわたって支える漢



導入シンポジウム

1. 国・数・社・音・体のみなさん,
あなたが用意した答えといっしょでしたか
2. 理・英・美・家・技のみなさん,
先生方が示された答えに納得しましたか
3. シンポジストに異論・反論・質問
をぶつけてください